

小牧市地域公共交通網形成計画策定支援業務委託プロポーザ  
ル実施結果

小牧市地域公共交通網形成計画策定支援業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、審査を行った結果、最も優秀な提案をする者（以下「最優秀者」という。）として、株式会社国際開発コンサルタンツ 名古屋支店を選定した。

1 審査結果

最優秀者	株式会社国際開発コンサルタンツ 名古屋支店 支店長 牧田 博之
次点者	玉野総合コンサルタント株式会社 代表取締役社長 関根 博道

2 審査日程

区分	項目	日程
第一次 審査	実施要領等の公表	平成28年5月11日
	質疑受付	平成28年5月11日から 平成28年5月18日まで
	質疑に対する回答（市ホームページに公表）	平成28年5月20日
	参加表明書の提出期限	平成28年5月26日
	技術提案書等の提出期限	平成28年6月8日
	書類審査	（省略）
第二次 審査	審査委員会（プレゼンテーション 及びヒアリング）	平成28年7月4日
	結果発表（公表・通知）	平成28年7月7日

### 3 審査委員会

区分	役職名	氏名
委員長	中部大学工学部都市建設工学科 教授	磯部 友彦
委員	小牧市区長会 連合会長 公共交通利用促進協議会 会長	小柳 松夫
委員	小牧市区長会 連合副会長	横井 徳明
委員	小牧市 都市建設部長（建設担当）	平岡 健一
委員	小牧市 都市建設部長（都市整備担当）	渡辺 学

### 4 評価基準

審査	評価項目	評価事項	配点
第二次審査	提出者の経験及び能力	同種・類似業務実績	5点
		企業の機動性（技術者数）	5点
	技術者の経験及び能力	技術者資格	10点
		同種・類似業務経験	10点
	業務実施方針等	地域精通度	30点
		業務理解度	20点
		業務実施手順	20点
	取組意欲	プレゼンテーション能力	10点
		コミュニケーション能力	10点
	見積金額		10点
	合計		130点

### 5 審査の経緯

#### (1) 第一次審査（省略）

平成28年5月11日に、プロポーザルに関する公告を行ったところ、平成28年6月8日までに、参加表明書及び技術提案書等の提出が4者よりあったことから、小牧市地域公共交通網形成計画策定支援業務委託プロポーザル実施要綱第6条第1項ただし書きの規定により、第一次審査を省略した。

参加表明書及び技術提案書等の提出者

(参加表明書等受領書受付番号順)

受付番号	提出者名
1	玉野総合コンサルタント株式会社
2	株式会社サーベイリサーチセンター名古屋事務所
3	パシフィックコンサルタンツ株式会社 中部支社
4	株式会社国際開発コンサルタンツ 名古屋支店

(2) 第二次審査(平成28年7月4日)

参加表明書等受領書の受付番号順で、提出者による提案内容等についてのプレゼンテーション及び審査委員によるヒアリングを行った。

審査委員会では、技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリングの内容に対する評価に加え、提出者の取組意欲に対する評価を合わせた結果を踏まえて審査を行い、最も優秀な提案をする者(最優秀者)及び次点者各1者を選定した。

6 各提出者に対する講評及び総評

(1) 講評

○最優秀者

小牧市の特性を理解した上での業務実施方針が示されており、特に地域精通度について高く評価された。さらに、広域交通の観点から、近隣市町との連携についても考えられており、小牧市地域公共交通網形成計画の策定にあたり期待できる内容と判断され、最優秀者として選定した。

○次点者

業務実施手順については、スケジュールにコントロールポイントを設定するなど、特に高く評価され、全般的にもよくまとまっている内容であった。しかし、小牧市の特性が十分に活かされておらず、総合的に次点者となった。

(以下、受付番号順)

○ 2 番

小牧市総合交通計画を意識した提案であり、また福祉交通も視野に入れている点が評価されたが、小牧市の特性を踏まえた提案が不足していると判断され、選定には至らなかった。

○ 3 番

交通の状況をより正確に把握しようとする姿勢が評価されたが、小牧市の将来像を踏まえた提案が不足していると判断され、選定には至らなかった。

(2) 総評

本プロポーザルは、国が認定する法定計画である「地域公共交通網形成計画」の策定にあたり、小牧市の特性を理解しつつ、豊富な知識・経験を有し、よりよい提案ができる業者を選定するため、公募形式により実施された。

また、小牧市では、平成22年度に「小牧市総合交通計画」を策定し、当計画に基づき、こまき巡回バスの再編等、様々な施策を実施してきたが、計画期間の半分が経過し、内容の見直し時期であるうえ、今日ではまちづくりと連携した交通計画の策定が求められ、さらには、都市計画マスタープラン中間見直し及び立地適正化計画の策定を進めている状況であるため、これらの計画と合わせて、既存の小牧市総合交通計画をベースとした小牧市地域公共交通網形成計画の策定を支援する提案を求めた。

こうした状況を踏まえ、各提案者からは、小牧市の特性を踏まえた独創性のある提案を多くいただくことができた。

審査委員会では、これらの提案に対し、評価基準に基づき、第二次審査を実施し、各提出者に対する講評のとおり選定した。

今後、最優秀者である株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店には、本市のまちづくりと連携した持続可能な公共交通網の形成に向け、業務を行っていただきたい。

最後に、「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにす

る「マスタープラン」としての役割を果たす、小牧市地域公共交通網形成計画が策定され、計画的に取り組みが進められることで、限られた資源が有効に活用され、持続可能な公共交通網の形成が図られることを一同期待する。

(審査委員会委員長 磯部 友彦)